

## CJD診断以前に行われた脳外科手術等のハイリスク手技事例によるCJD二次感染予防と事後の対応に関する提言(骨子案)

### 1 はじめに

### 2 現状と問題点

#### 2・1 CJDサーベイランス

- ・ サーベイランスの歴史
- ・ 現状の体制

#### 2・2 CJD発生動向

- ・ 我が国における発生概況(諸外国との比較)

#### 2・3 CJDの消毒法について

- ・ CJDの消毒法の現状

#### 2・4 CJD二次感染リスクについて

- ・ CJD2次感染リスクとは何か
- ・ これまでのCJD2次感染の状況

#### 2・5 CJD二次感染リスク保有者への対応における問題点

- ・ 世界におけるこれまでのCJD2次感染防止の現状
- ・ 我が国におけるこれまでの対応
- ・ 現状における問題点

### 3 CJD二次感染リスクの低減法

#### 3・1 臓器・手技・患者リスクのクラス分け

- ・ CJD二次感染リスクの考え方
- ・ CJD二次感染のリスク分類

### 3-2 ハイリスク手技を行う場合の対応について

- ・ CJDハイリスクグループ(高齢者等)のCJD除外診断について
- ・ ハイリスク手技を行う場合の処置について

### 3-3 CJD二次感染を低減させる消毒法について

- ・ 暫定的な消毒法について
- ・ 消毒法の今後の見通しについて

## 4 CJD二次感染リスク保有者への対応について

### 4-1 対応すべき事例について

- ・ 対応すべき事例
- ・ 対象症例と対応内容

### 4-2 医療機関からの相談先

- ・ 今後の相談先

### 4-3 事後の対応について

- ・ 告知すべき内容について
- ・ CJD二次感染リスク保有者等の追跡調査及びその期間等について
- ・ データの管理について

## 5 まとめ